



にしかわ報

人口の動き	
- 8月1日現在 -	
男	5,834 (-6)
女	5,990 (+5)
計	11,824 (-1)
世帯数	2,592 (-1)
()内は前月との比較	

発行/川西町役場 編集/企画室 定価/1部5円 印刷/白南風社



暑さにめげず 7月20日、日曜日の昼下がり、長者原のグラウンドは沖立部落の運動会でたけなわでした(写真)。ここだけでなく、7月1日、三箇の婦人青年バレーボール大会。同日、橋地区の青年による球技大会。8月3日、千手の第1分団がレクリエーション大会と、いかにも健康な町らしく、暑さをふきとばす盛況ぶりがみられました。

行事

八月

成人式 十五日川西中体館で行ないます。該当者は午前九時半までに集合するように。恒例の記念講演、講師は県教育委員近藤源郎氏。ご両親の列席も歓迎。家庭を幸福にするための懇話会。千手地区婦人会・愛児会の合同

二十日午後一時から開く。会場は役場の四畳会議室。郡市剣道スポーツ少年団夏期講習会。二十三日、二十四日の両日川西中で、居合いや袴のひらうもあり、一般の参加は自由。仙田婦人会役員研修会。二十八日の午後一時から仙田出張所で。青年学級フアィヤーのついで。三十一日夜七時から松葉沢で。

町政コーナー

七月十五日に無投票で行なわれた農業委員選挙について、定数を減らしてからはじめての議会議員選挙が、これまた無投票で行なわれた。農業委員は、今回も含めて過去五回の改選がすべて無投票であった。それにひきかえ、議会議員選挙は小選挙区制で行なわれた昭和三十二年の第一回選挙で橋地区が無投票となったのが唯一の例である。今回四人の定数を断行したにもかかわらず、無投票という前例のない事態となったことは、それだけ情勢がきびしいと見られたためであろうか。

町総合開発計画の中で最も重要な事業と見られている農畜かん排事業についての概要書がまとまり、七月二十四日農地計画課高橋課長補佐以下の来町を導いて説明会が開かれた。南沢に貯水盤七八万トンの川西ダムを新設するとともに二回五升苗ダムのカサ上げを行ない、他の既

生活水準の向上とともに消費物資もまた豊富に出まわっている。たいへんけっこうなことであるが、消費者のフトコロは必ずしもこれに無限に広がるほど豊かではない。七月十三日に橋中学校で行なわれた町婦人会連絡協議会の総会において「病児見舞のお返しは廃止すること」という決議案が全会一致で可決された。入院するときより退院するときのほうが痛いというようなお返しは慣習はたしかに行き過ぎであり、見舞ったほうとしても決して本意ではない。こういうことは単に大会の決議としてお祭りさきわに終わることなく、確実に実行されるよう末端まで徹底する措置を望みたいものだ。(M)

（と）りまとめにあたって
・届出頂に掲載した。かつこの中は年俸（十日現在）。現住所職業の順である。（前は前職は現在の公職。敬称略。

中村金作 現



（五十）歳、坪山、農（前農地委員、中各小）

「A会長、公民館運営委員、現議会議長、千手農協理事、綜合開発計画審議会産業委員、（抱負）米価のすえ置きや自主米運米制度等農家の一大岐路に立つ時、七〇％近い農民をもつ川西町としても農政の再検討をせまられているが、その中心となるべき、目下策定中の総合開発計画の内容を十分検討し、その実施にあたっては、金精力を傾けて平和で明るく豊かな町づくりに努める。

市川富二 現

（五十八）歳、中層、理容業（前）議会議長、同僚副委員長、郡市理容師会長、（抱負）総合開発計画審議会厚生委員長、（抱負）①町道の整備と舗装の早期実施。これは、交通事故の防止や児童、生徒の通学の便を図る。



えからも急務である（抱負）①国道の整備促進と冬期交通の確保、②学校教育の機会均等と

（抱負）①町道の整備と舗装の早期実施。これは、交通事故の防止や児童、生徒の通学の便を図る。

桐生昌平 現



（五十）七歳、大白倉（前）仙田村議会議員、（抱負）

「抱負」均衡と緩和のとれたスロ一ガンのもとに五か年計画が立案され、着々と実績をあげていまして、しかし成長の陰のひずみというところも否定できない点であり、その意味から産業、道路、教育、医療等々、多方面にわたるべき地振興を推進して、陸の孤島の名を解消することに努力いたします。

登坂敬恒 現

（四十九）歳、赤谷、農業（前）赤谷区長、赤谷PTA会長、

行政に反映させるため会場、住民間のかけ橋になるよう努力する。



（抱負）①町道の整備と舗装の早期実施。これは、交通事故の防止や児童、生徒の通学の便を図る。

水品正一郎 元



（五十）六歳、三領、農業（前）農業者、（抱負）

「抱負」①山間単作地帯の所得向上に結びつく産業発展に努力する②土木建設に力を注ぎ、無雪道路の確保に努める。③学校統合を促進して施設設備の充実を図り、優秀な子弟を育てることのできる環境の整備を図る。④住民の意思を

田中三郎 現



（六十）二歳、山野田山田役員、（前）副議長、同総文、土木各委員長、教育委員、会副委員長、（現）運動者協会副会長、兼川西支部長、勤労協会会長、青少年育成委員会理事。

「抱負」総合開発計画の推進、青少年の健全育成と交通安全対策、社会教育の充実、公民館の建設、土木厚生、健康諸施設の急速な充実と水道完備、税の公平化と勤労者減税。十日町市との合併が双方とも懸案となって進展必至。いずれも町民の意思を尊重して真剣に取り組みなければならぬ。

高橋弥太郎 新



（四十）四歳、高倉、農業（前）海軍航空隊に志願、神風特攻隊勤務、仙田農協職員（当時農業会）、仙田村役職職員、（現）高倉区長、農業共済評議員、錦組組合役員、高倉分校PTA会長。

「抱負」①町道整備と舗装の早期実施。これは、交通事故の防止や児童、生徒の通学の便を図る。②産業の発展と交通について、二五二号

登坂茂 新



（四十）九歳、岩瀬、農業（前）赤岩小PTA会長、十高仙

「抱負」明るく豊かな町づくりに目標に活気のある町政を行なうため、若さ、情熱、責任感をもって、具体的には次の点に努力する。①国道の早期改良 ②県道各線の改善および舗装の促進 ③教育の振興と通学道路の無雪確保 ④医療不安の早期解消 ⑤は場整備とへき地の土地改良。

押木二吉 現



（五十）九歳、田戸、農業（前）中仙PTA副会長、

「抱負」①仙田地区の開発、これは、こんごの仙田の農業を決定づけるものとして努力する ②産業の発展と交通について、二五二号

平野圭二 現



（五十）六歳、東吉寺（前）土地改良区理事、川西中

「抱負」①建設五か年計画の完全実施。特に道交計画と交通安全対策に力を入れる ②県道は場整備事業を中心とする産業基盤の整備拡充 ③人づくりと町政の若返りに努める。これは後継者問題も含め、二十代の考えを町政に反映させてゆく。

上村忠雄 元



（五十）三歳、上野、製綿業（前）合併、当時町議、上野部長

総代、土橋地開田組会長、（現）打掃工業組合理事、郡市打掃工業（以下、四ページ上段）

みなさんの代表が語る抱負

八月は「道路を守る月間」

〈推進標語〉

- 正しく使おうみんなの道路
- きれいな道路に正しいマナー
- 美しい道路はぼくらの誇り

八月一日から三十一日までの一月間は、道路を守る月間です。たれもが、道路を正しく使用し、かわいがってやることにより道路が常に、広く、美しく、安全であるよう、管理する心がけをもちたいものです。

この月間では、特に次のような事項について呼びかけを行なっています。みなさんからも、ぜひご協力をお願いします。

環境の整備

- ① 交通安全施設の整備
道路標識、防護さく、道路照明、横断歩道等の設置と改善。
- ② 清掃
路面、側溝、のりつらおやび路肩の清掃

健康管理室に有線

千手診療所内にある健康管理室に、このほど千手農協の有線放送電話がはいりました。番号は五五〇三三です。

古屋をこわして危険物捨て場で処理されるかたは、二、三日前に健康管理室へ連絡を

正しい利用

- ① 道路を自動車や自転車とか商品、資材等の置き場、または作業場として使用しない。
- ② 沿道の家庭からの排水等によって、側溝や路面を汚めないようにする。
- ③ 道路に突き出ている木や竹の類は、交通に支障があるので切除してほしい。
- ④ 土砂、タバコのすいから、紙くず、ごみ等を道路に捨てない
- ⑤ 道路を不法占用している物件があればとり除き、占用手続きが必要なのは、ただちに手続きをとっていただく。
- ⑥ 歩行者の正しい道路の使い方に注意する。

愛護思想の普及

道路はあなたのものです。町内の道路がいつも安全で、広く使うことができ、さらに、美しくあるように、身近なみなさんが見守って

てやってくください。簡単な手入れはみなさんの手でそのほか、必要な措置がとれるよう早めに補修員が現場土木課へ連絡してください。

福祉年金証書の交付

児童扶養手当の証書も

お預かりしている証書を次の日程でお返しします。

- 期日と時間：九月六日、午前八時半から十二時まで。
- 場所

- ・千手地区は役場
- ・上野地区は農業センター
- ・橘と白倉地区は橘出張所
- ・仙田地区は仙田出張所

福祉年金の受給者は、それぞれ場所へ証書の保管証と印鑑を持参してください。また、児童・特別児童扶養手当の証書もお渡ししますから、同様に保管証と印鑑を持っておいでください。

社会福祉関係の表彰ふたつ

さる八日、十日町小で開かれた第十八回郡市社会福祉大会の席上、樋口ミイさん(中仙田)、岡島リヨさん(大白倉)、高田イシさん(中黒敷)の三人が表彰されました。いづれも母子家庭の困難を克服してお子さんをついに成長させたことや、母子福祉活動に対する貢献が認められての表彰です。

善意の告知版

六月三十日になくなった野口の野沢秀保さんのご遺族野沢秀一さんから、町社会福祉協議会にあてて三万円の寄付がありました。故人は、農業委員をはじめ多数の公職を歴任し、町社協では監事として、多年社会福祉のために貢献されました。

1町の事業

入札のもよう

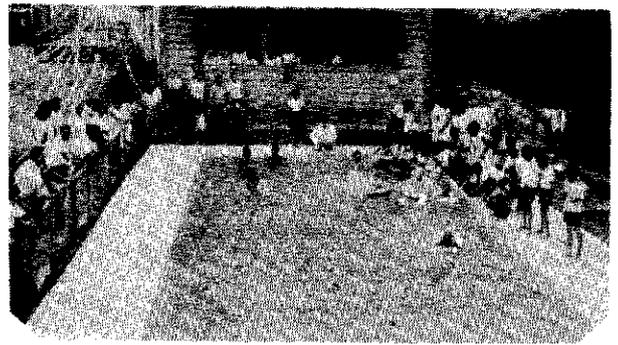
- ①は施工所 ②は請負業者 ③は請負金額
- ▽上野西浦線改修 ①上野、②羽鳥建設、③五十八万円
- ▽岩瀬邸内線舗装 ①岩瀬、②丸山工務所、③三十六万二千円
- ▽山手線改修 ①元町、②吉楽土建、③二百四十一万八千円
- ▽三領線舗装 ①三領、②川西建材、③十五万四千円



プール二題

橘小・中学校と仙田小の高倉分校にプールができました。橘のは県下でも類のない鋼板プール(総事業費一千九十五万四千円)。高倉の方は、これはまた山の分校らしくピニール(耐熱プラスチック)プールで約十五万円という工費でした。いづれも地元からたいそうなおほねおほねをいただきました。高倉の場合分校改築十周年記念事業でもあったわけですが、かつての分校主任、現上郷小出浦分校の長谷川正巳先生がピニール水槽を寄贈したほか、用材も寄付、工事は地元の努力奉仕によりました。

プールびらきは橘が先月二十六日(写真上)、高倉はこれより三日早い二十三日(写真下)で、それぞれ二十五メートルと十五メートルのプールで、シーズンたけなわを思わせる水しぶきをあげました。橘では長岡大手高校の四人の水泳部員が模範演技を見せています。この二葉の写真から、待望のプールができた地元のみなさんの喜びがどれほどのものであるかその表情をご想像になってみてください。



広報スワッチ

県外からお嫁に来たかたへ

わたしは東京都内に生まれ育ちました。縁あってこの町にとつきましたが、このごろ、できることなら東京周辺の出身者同志が集まってグループを作り、ともに語り、いっしょに学んでいきたいと考えようになり、共鳴してくれる人もかなりいます。広報で全町に呼びかけてもらえないでしょうか……。

ある若い奥さんからこんな意見をいただき、お手伝いすることにになりました。なんとすれば、川西町の婦人東京会とでもいうような、懇親と学習を兼ねた組織ができるのではありませんか……。

ご希望のかたは、次の要領で申し込んでください。
(教委・社会教育課)
①参加できる人
東京周辺を中心にした新潟県以外の出身者で、現に町内に住んでいる婦人。ただし、北海道や長崎出身のかたであっても大歓迎です。年齢は問いません。
②申し込みの方法
郵便または電話で、役場内教育委員会社会教育課あて九月十日までに。部落(町内)名、世帯主とあなたの氏名、出身県名、実家の住所をお知らせください。
③目下の計画

秋までに出身地別の名簿を作つて配布します。できれば、取り入れの終わったところ初会合を開き、今後の方針などを決めていたたく予定です。
誘い合わせて、どうぞ多数ご参加くださるよう。

思わぬ災難に備え 傷害特約付 簡易保険を

交通事故や思わぬ災難で死亡したり、傷ついたりしている人がふえているところから、簡易保険で九月一日から「傷害特約」を取り扱うことになりました。
この傷害特約は、簡易保険の全部の種類にネットしてあるもので、手帳に加入しただけです。
保険金と保険期間は、もともになる保険と同じで、掛金は、年齢・職業に関係なく、保険金百万円につき月額二百円となっています。
保険金は、事故で死亡したり、身体障害になったり、治療のため入院したときなどに支払われます。危険がいっぱいの現代の備えとして、傷害特約付簡易保険をお勧めします。(郵便局から)

たかさご二円満に

- ◎新婦 佐藤 渉 中島町
- ◎新婦 柳澤アヤ子 中島町から
- ◎新婦 高橋 榮 大白倉
- ◎新婦 千條 徹子 埼玉から
- ◎新婦 中島 壽一 発電所通り
- ◎新婦 阿部 ミツ 五泉から
- ◎新婦 高橋 保夫 伊友
- ◎新婦 増田 君代 十町から
- ◎新婦 中村 一成 大白倉
- ◎新婦 渡邊アサ子 群馬から

戸籍の窓から

- うぶ声—おすこやかに
- 上村 利宏 貞二 長男下平新田
 - 小幡 一久 久夫 長男 木落
 - 高橋 章郎 武巳 長男 坪山

- 昇天—ごめい福を祈る
- 登坂 軍 岩瀬 一六
 - 名家 修 新町 一八
 - 太田 時夫 田中 一八
 - 清水 定吉 下平新田 六四
 - 小林 チユ 藤沢 六六
 - 高橋喜平治 三領 六九
 - 佐藤 肇作 霧谷 六九

農夫症と盆踊り

千手診療所長
川崎 信夫

最近のテレビや新聞で、ひんばんに見受ける「農夫症」というのは、数年、数十年と農作業に従事しているかたが、これといった原因も見当たらないのに頭痛、腰痛や手足の痛み、不眠、肩こりなどの症状を訴えることをさしているのはご存じのことです。
なぜ、このような症状がでてくるのかという点、栄養のかたより、不衛生も原因の一部ですが、やはり過労が大きなウェーリです。
トを始めています。しかも、この時期が過ぎ、お盆ともなれば、行し、いわゆる三ちゃん農業への推移と同時に「農婦症」に変わって来たようです。
過労というものは、文字どおりの働き過ぎ、人間のからだに幾とわりとなくある筋肉の中の、特定のものだけを使うことによる疲労の重なりであるといえます。ですから、これをなおすには単に休養するだけではなく、労働によつては使うことのない筋肉を柔らかかに動かす、筋肉全体をバランスのとれた状態にしなければなりません。
そこで、昔の人の生活の知恵がいかに大したものであったかが思いあたります。

あなたは 軍人一時恩給に 該当しませんか

軍人一時恩給復元の動きが具体化しています。該当すると思われるかたは、実現に備え、役場内軍恩連川西支部で必要な手続きをとるようお知らせします。
△該当者▽連続三年以上、七年末満の現在職者で、恩給扶助料、一時恩給を受給していないかた。
なお、一時恩給推定額は下表のとおりですが、十月以降に改定見

一時恩給推定表(少尉以上略)

階級	定給	一時恩給額				
		連3年	連4年	連5年	連6年	連7年
兵	188,000	46,999	62,663	78,337	93,997	93,997
伍長	213,900	53,475	71,300	89,125	106,950	106,950
軍曹	226,000	56,500	75,334	94,167	113,000	113,000
曹長	233,700	58,425	77,900	97,375	116,850	116,850



かわにし
俳壇

短歌
原田 根津とさ子
雲と霧とさかかならざる一角の夜
明けの空に赤き太陽
我が歌の活字となりし喜びを一字
一字に確めにつつ
東の音をききて織り継ぐ機なりき
我が趣味にして我の生甲斐
月面に足を踏みたるア船長の感激
の姿のテレビに見入る